

平和・共生 個性・創造 自立・発展

沖縄国際大学

Okinawa International University



世界空手道連盟 2012 プレミアリーグ トルコイスタンブール大会
 男子団体形優勝の喜友名諒、上村拓也、金城新 (関連記事P13)

学報第99号(2012. 12. 27発行)

(CONTENTS)

沖縄国際大学への米軍ヘリコプター墜落後、8年目を迎えて(声明)P02
 六大学包括的連携協定を締結.....P03
 名誉教授称号授与式を挙行.....P03
 本学名誉教授 故 高橋俊三先生 位階「正五位」、
 勲章「瑞宝中綬章」を受章P03
 第11回三大学院共同シンポジウムを開催P04
 企業と大学との就職懇談会を開催.....P04
 本館屋上へ「NO FLY ZONE」をペイント.....P04
 2011年度国外研究員報告P05
 博士号取得者紹介.....P05
 2012海外インターンシップ実習報告会P06
 平成24年度 教育実習実施状況報告P06
 平成24年度 相談援助実習及び精神保健福祉援助実習報告P06
 平成24年度 後援会支部総会の開催P07
 平成24年度 うまんちゅ定例講座実施報告P07
 平成24年度 事務職員夏期総合研修開催P07
 キャリア支援課からの情報.....P08～09
 国際交流センター.....P10

外国語センター.....P10
 図書館.....P10
 平成24年度(前期) 沖縄国際大学総合研究機構活動報告P11
 平成24年度 特待奨学生証書交付P12
 学P 沖縄リーグ2012に参加P12
 第9回「おきなわの観光」意見発表コンクールで優秀賞、優良賞を受賞P12
 世界空手道連盟2012プレミアリーグトルコイスタンブール大会優勝P13
 BATIC(国際会計検定)に6名全員合格P13
 本学卒業生 宮平貴子さんがモントリオール世界映画祭にてW受賞P13
 第41回沖縄大祭.....P14～15
 2012年度 研究費交付決定一覧P16
 本学教員出版物紹介.....P17
 平成23年度 事業報告(個別業務計画各事業の抜粋)P17
 計報.....P17
 平成23年度 決算報告P18～19
 学内人事.....P19
 2013(平成25)年度 入学試験日程P20

沖縄国際大学への 米軍ヘリコプター墜落後、8年目を迎えて

理事長・学長 大城 保

沖縄国際大学に米軍ヘリコプターが墜落して、今年で8年目になった。事件直後から、理不尽で悲惨な事件に対し米軍をはじめ関係諸機関に強く抗議し、飛行中止を求めてきた。しかし、未だ本学の上空を飛行し、問題解決がなされていない。普天間基地の閉鎖・返還を求めてきたにもかかわらず、取り巻く情勢は膠着が続く中で、MV22オスプレイの配備が進行し、危険性は増大する一方である。このような現状を憂い、ここに改めて、普天間基地を使用する航空機の即時飛行中止とともに、普天間基地の一日も早い閉鎖・返還を日米両政府をはじめ関係諸機関に要求する。

事件後、米軍関係者が陳謝し、政府関係者、政党関係者、その他多くの関係者が本学を訪れ、お見舞いを賜った。その際、「二度とこのような悲惨なことが起こらないように努力、協力する」とのことであった。

しかし、多くの人々の抗議・要求をよそに、未だ本学上空を飛行しているのが現状である。しかも、その打開策が見えず、普天間基地の危険性が更に増大することは遺憾至極である。

大学は、もとより、静かな環境の中で勉学・研究をする場である。例え、いかなる国際政治論、安全保障論で飛行を正当化しても、大学の平穏・安寧を脅かし、生命すらも脅かす飛行は大学にとって認められるものではない。

「安全、安心、平和」は思想、信条を超えて万人の求めるところである。本学は、地域に根ざし、世界に開かれた大学として、地域と経験を共有しつつ連携して、「安全、安心、平和」のために、普天間基地を使用する航空機の即時飛行中止を強く求めると同時に、MV22オスプレイの配備に強く反対する。

「普天間基地から沖縄を考える集い」を開催

8月13日、午後2時より、「普天間基地から沖縄を考える集い」を開催しました。

第一部のポケットパークヘリ墜落現場モニュメント前にておこなわれた集いには、約220名の参加者数がありました。副学長狩俣恵一による趣旨説明と挨拶がおこなわれたあと、理事長・学長大城保による声明が発表されました。また、宮良祐太(地域行政学科3年次)、比嘉太一(地域環境政策学科4年次)、稲住光祐(企業システム学科4年次)、橋本実緒(社会文化学科4年次)、比嘉由紀乃(社会文化学科4年次)、喜久里瑛(地域文化研究科2年)の6名の学生による意見発表もおこなわれました。

宮良君は「大切なのは、個々の声だけではなく沖縄県民全体の声として私たちの権利を主張していくこと。墜落事故を含め基地問題を一地域だけの問題としてとらえるのではなく、それを県民全体で共感する心が必要」と発表しました。また、橋本さんは「沖縄は、国内唯一の地上戦を経験し多くの犠牲者を出した。沖縄戦を経験した沖縄から平和を発信していけるように、今一度、基地の存在を再検討していきたい」と発表しました。

第二部では7号館201教室で「海勢頭豊 Special in 沖縄国際大学～Hope for world peace～」が行われ、歌で平和を訴えました。



大城 保 学長

宮良 祐太



比嘉 太一

稲住 光祐



橋本 実緒

比嘉 由紀乃

喜久里 瑛

六大学包括的連携協定を締結

8月28日、松山大学において、北星学園大学、日本福祉大学、広島修道大学、松山大学、熊本学園大学、沖縄国際大学による『六大学包括的連携協定』調印式が執り行われました。

この協定では、複数大学の多面的な連携(研究交流、学生の教育交流、教職員の相互交流など)を行うことで、「学びの質向上」「地域貢献」等、今後の大学教育の様々な問題を解決していくことを主旨としています。

今回参加した6大学は、学生数の規模、各地域の高等教育の中核を成す地方大学であるなど、共通の特色を有しており、事務局長レベルの交流や職員研修会の開催、各大学間では国内留学や単位互換などの教育交流も活発に行われてきました。

調印式では、本協定締結に至る経緯や趣旨についての説明後、加盟大学学長による挨拶、協定書への署名が行われました。最後に森本三義松山大学理事長・学長からは「6大学が連携することにより、教育研究の水準を上げ、それぞれの地域に対する貢献度を高めていきたい」と今後の抱負を述べ、式を締め括りました。



名誉教授称号記授与式を挙行

4月20日、本館6階会議室において3月末日退職の天下祥枝前総合文化学部教授に名誉教授の称号記が授与されました。

天下先生は、本学の海外姉妹校であるフランスのレンヌ第2大学との提携に尽力しました。

大城保学長は「これまで沖縄国際大学の発展のためにご尽力いただき、大変感謝しております」と述べました。天下先生は「本日は素晴らしい称号を賜りましてありがとうございます。とても光栄に存じます。今後も研究を続けつつ、留学生やフランス語関係のお手伝いできればと考えております。今後ともどうぞよろしく願いいたします」と挨拶しました。

これまでに本学において同称号記を贈られた名誉教授は45名になります。



本学名誉教授 故 高橋俊三先生 位階「正五位」、勲章「瑞宝中綬章」を受章

5月14日に逝去された本学名誉教授の故高橋俊三先生の生前のご功績に対し、7月13日、日本国の栄典のうち位階「正五位」と勲章「瑞宝中綬章」が授与されました。高橋先生は、一貫して琉球方言に関する分野の研究に努め、その著書および論文は多数に及びます。本学在任中には沖縄文化協会賞(金城朝永賞)、沖縄研究奨励賞、および伊波普猷賞を受賞され、長年にわたり琉球方言の研究や後進の研究者の育成に尽力されました。

高橋俊三 (たかはしとしぞう)

【略歴】

昭和17年5月13日広島県生まれ。昭和43年4月旧国際大学講師に採用、昭和56年10月沖縄国際大学教授に昇任。平成5年文学部長、平成10年・平成16年本学南島文化研究所所長を経て平成23年3月に退職。同年4月に本学名誉教授の称号を受けた。



第11回三大学院共同シンポジウムを開催

12月8日、地域産業研究科主催により、13号館301教室にて、札幌大学及び鹿児島国際大学と共同でシンポジウムを開催しました。

このシンポジウムは、2002年より輪番で開催しており、11回目となる今回は、「産業政策と地域振興」を共通テーマに、4人の先生方の報告とパネルディスカッションが行われました。当日は約40人の方が参加され、それぞれの報告に熱心に耳を傾け、続くパネルディスカッションでも、各地の地域振興策について活発な議論が交わされました。

- 報告1 「21世紀社会資本整備と地域社会振興」
大城 保 (沖縄国際大学大学院 地域産業研究科 教授)
- 報告2 「“さっぽろ”を変える札幌大学の共創の考え方と取り組み」
小山 茂 (札幌大学 女子短期大学部 教授)
- 報告3 「鹿児島における対中観光振興の現状と課題」
富澤拓志 (鹿児島国際大学大学院 経済学研究科 准教授)
- 報告4 「地域振興政策と復帰後の沖縄経済」
前泊博盛 (沖縄国際大学大学院 地域産業研究科 教授)



企業と大学との就職懇談会を開催

10月25日、ラグナガーデンホテルにおいて「企業と大学との就職懇談会」を開催しました。これまでの本学学生の採用・就職支援に謝意を表すること、今後の採用について企業と大学との意見・情報の交換、親睦を図ることを目的として開催されたもので、県内外の企業57社から89名の参加がありました。

大城保学長の挨拶で開会し、本学の就職指導について山入端津由学生部長より報告が行われました。第一部のメインである就職講演では梶井当代表の城戸伸一郎氏より『沖縄の健康は食から』と題してお話いただきました。第二部の懇談会では、採用情報や卒業生の近況などの情報交換で大いに盛り上がり、新垣勝弘常務による閉会の挨拶で大盛況のうちに閉会しました。



梶井当代表・城戸伸一郎氏



本館屋上へ「NO FLY ZONE」をペイント

10月12日、オスプレイを含む普天間基地を使用する航空機の飛行中止を訴えるため、本学学生の有志30名が本館屋上に「NO FLY ZONE」のペイントを行いました。本学では2008年に、普天間基地を使用する航空機が大学上空を飛行しないようにというメッセージを込め、同場所にペイントを行いました。今回は、その当時の抗議の思いを重ねるという意味を込めて、再び「NO FLY ZONE」の文字に色を塗り重ねました。

学生を代表して、仲里徹朗君(地域行政学科3年次)は、「私たちは、安全でかつ静かな環境の中で、学習する権利がある。安全で静かに勉強ができるよう、自分たちにできることをしたい。そのような思いから、大学屋上に「NO FLY ZONE」というメッセージを書きます。そして、大学の教職員、学生は丸となって、日米両政府に、オスプレイ運用中止と、普天間基地を使用する航空機すべての即時飛行中止を強く、強く要求します」と挨拶しました。



2011年度国外研究員報告 フィラデルフィアのペンシルバニア大学にて

産業情報学部 企業システム学科教授 佐久本 朝一

ほぼ30年間、勤務させていただいた大学の要職を離れて一日中自分自身で時間をフリーに使えるアメリカでの国外研修生活が始まった。私は、アメリカのフィラデルフィア市に位置するペンシルバニア大学に歩いて2分ほどのインターナショナルハウスに滞在したが、そこには世界各国からの数多くの留学生も滞在しており、毎週のように交流・研究・講演会などが開催されていた。そこでの毎日が図書館に通うのと大学近くのにぎやかな通りを見学する(写真1)という日程のなかで、その生活を支えたのは24時間営業のコンビニである“ワーワー”(写真2)と日本の100円ショップが5ドル商品になった“5BELOW”(写真3)だったのだが、なにより私を元気づけたのは巨大な“フィラデルフィアステーキ”であったのは言うまでもない。

ニューヨーク市とワシントンDCの中央に位置するペンシルバニア州のフィラデルフィア市は、沖縄の那覇市と比べると面積が約10倍、人口が5倍ほどの規模で、高層ビルの立ち並ぶセンターCITY(写真4)と大学が集中しているユニバーシティCITYとが川向かいで歩けるほどの距離にある都市だ。大学都市と呼ばれている後者はアメリカで最も大学の数が多く、学校はカレッジを含めると全部で101の大学が集中し、30万人ほどの学生が生活する教育の中心地である。そのことから、ほぼ100mごとに警備員がいるなど治安が確保されていた。

そのなかでも、私が所属した日米経営研究所はペンシルバニア大学のウォートンスクールに研究基盤があり、所長の多賀先生とウォートンの研究生達と一緒に週一回のミーティングを行うという日程であった。(写真5)ペンシルバニア大学は、百ドル紙幣の表紙にもなっているベンジャミンフランクリンが約260年前に“時間を空費するなかれ、つねに何か益あることに従うべし、無用の行いはすべて断つべし”という精神で創設した由緒ある私立大学なのであり、その大学院であるウォートンは今から85年ほど前に創設され、全米におけるMBAのトップクラスをボストンのハーバードビジネススクールと教育研究レベルを競っている。そのせいか、教員も自己の研究で忙しく学会での発表や掲載した論文の数により、その仕事ぶりが評価されていた。大学院の評価には5年おきごとに、教員の研究業績と学生の就職状況、企業サイドのアンケートの総合評価でランク付け公表されている。

大学内の建物の名称はすべて寄付者や貢献者の名前が表示されており、なかでも図書館はペンシルバニア大のパンペルト-ディエトリッチとウォートンのリブコットという3人の寄付者の名前をつけた二つの巨大な図書

館が存在する。両者は二階の長い通路でつながり、なかではスナックもあり軽い飲食も可能だ。そこでは数百万冊以上の研究雑誌と数万冊以上の蔵書が保管されており、その数も毎年増え続けている。その対策としては蔵書のデジタル化が進んでおり、ほとんどの資料がペンシルバニア大の“フランクリン”やウォートンの“WRDS”と名付けられたデータベースに格納され、しかもそれは膨大な量の多種多様なデータベースとつながるなど、いわゆるデジタルデータベースのWIFIなのであった。そのすぐ隣には工学部の建物があり、そこでは学生の研究室に、商業用コンピュータとしては世界最初にここで作られたというエニアックの一部が無造作に展示されていた。(写真6)



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5

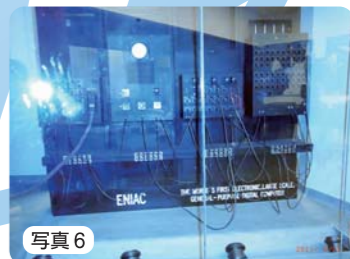


写真6

博士号取得者紹介

■ 芝田秀幹 (法律学科)

- ①大学名 明治大学
- ②テーマ バーナード・ボザンケの政治思想
- ③履与年月日 2002年3月26日

■ 庵原さおり (経済学科)

- ①大学名 東京大学
- ②テーマ 公共政策の決定に関する政治経済学的研究
- ③履与年月日 2011年3月24日

■ 新垣 武 (地域環境政策学科)

- ①大学名 Texas A&M 大学
- ②テーマ Interaction of cations with iron monosulfide (Mackinawite) in dilute solutions and seawater.
- ③履与年月日 1992年5月15日

■ 呉 錫畢 (地域環境政策学科)

- ①大学名 北海道大学
- ②テーマ 日本における環境汚染と持続可能な経済成長に関する研究
- ③履与年月日 1995年3月24日

■ 田口 順等 (産業情報学部)

- ①大学名 大阪府立大学
- ②テーマ 地域経済分析と活性化策
- ③履与年月日 2006年3月31日

■ 丸山友希夫 (産業情報学部)

- ①大学名 帝京科学大学
- ②テーマ 観測値の統計処理に関する研究
- ③履与年月日 2000年3月

■ 下地賀代子 (日本文化学科)

- ①大学名 千葉大学
- ②テーマ 多良間方言の空間と時間の表現
- ③履与年月日 2006年9月30日

■ クレイグ・ジェイコブソン (英米言語文化学科)

- ①大学名 トロント大学大学院
- ②テーマ Facilitators of International Educational Programs in China
- ③履与年月日 1993年6月

■ 石垣 直 (社会文化学科)

- ①大学名 東京都立大学
- ②テーマ 現代台湾を生きた先住民——ブナン族による土地をめぐる権利回復運動の人類学
- ③履与年月日 2008年2月28日

■ 澤田佳世 (社会文化学科)

- ①大学名 津田塾大学
- ②テーマ 沖縄の出生力転換と女性たちの交渉——米軍統治と生殖をめぐるジェンダー・ポリティクス
- ③履与年月日 2012年2月15日

2012海外インターンシップ実習報告会

11月20日、2012海外インターンシップ実習報告会が行われました。
海外インターンシップは職業体験学習を通じて、自ら将来の適性を見定め、職業観を養うという既成のねらいはもとより、その学習の場を海外、とりわけ成長著しい中国とし、国際感覚の涵養と国際的な場で活躍できる人材の育成を目指して行われているものです。

実習期間は、9月2日～9日の8日間で、四川省成都市の日中合弁会社である成都ウィナーソフト社での就業体験、成都イトーヨーカドー、セコム、東京三菱UFJ銀行成都支社等への企業訪問、杜甫草堂、武侯祠で歴史旧跡視察を行いました。今回は2年次以上の学生を募り、5名の学生を派遣しました。

今回実習に参加したのは、法律学科3年次の稲福啓佑君（北中城高校出身）、企業システム学科4年次の稲住光祐君（首里高校出身）、英米言語文化学科3年次の山城英里奈さん（八重山高校出身）、企業システム学科4年次の宇良宗剛君（南部商業高校出身）、企業システム学科4年次の宮城卓央君（具志川高校出身）の5名です。

山城さんは「海外で働くにはその土地を知り、適応していくことが大切。中国に進出している日本企業は、礼儀やおもてなしの心を大切に、夢を持って働いている」と感想を報告しました。



平成24年度 教育実習実施状況報告

沖縄県教員の資質向上連絡協議会の申し合わせにより、6月実習（主に高校実習）は6月第2月曜日から2週間、9月実習（主に中学校実習）は3学期制の場合、9月10日（月）～10月1日（月）、2学期制の場合は夏期休業明けの第1月曜日から15日間という日程で行われました。
詳しい内容は下記のとおりです。また、本学では『特色GP』で採択されたように実習前・中・後に教育実習に関するきめ細かい指導を行っております。

【実習期間】
<6月実習>
 6月4日（月）～6月15日（金） 正味15日間
<9月実習>
 ①3学期制：9月10日（月）～10月1日（月） 正味15日間
 ②2学期制：夏期休業明けの第1月曜日から開始 正味15日間

【実習生数】
<実習期間>
 ・5月実習生：3名 ・6月実習生：46名 ・8月実習生：4名
 ・9月実習生：53名 合計：106名

<実習校数>
 ・中学校実習生：66名（52校） ・高等学校実習生：40名（25校）
 合計：106名（77校）

<教科>
 ・英語：18名 ・公民：15名 ・国語：31名 ・社会：32名
 ・商業：5名 ・情報：2名 ・地歴：3名

【事前指導】
 ・4月29日（日）：第1回教育実習オリエンテーション
 ・5月11日（金）：第2回教育実習オリエンテーション
 ・7月6日（金）：第3回教育実習オリエンテーション

【事中指導】
 ・2週間実習：第1週目の土曜日に教科教育法教員を交えて実習生による中間懇談会
 ・3週間実習：第2週目の土曜日に教科教育法教員を交えて実習生による中間懇談会

【事後指導】
 ・教科別反省会：教育実習終了後、教科教育法毎に教育実習の感想・反省点を報告する。

平成24年度 相談援助実習及び精神保健福祉援助実習報告

人間福祉学科3・4年次を対象に、社会福祉士国家試験受験資格及び精神保健福祉士国家試験受験資格の取得要件である「相談援助実習」及び「精神保健福祉援助実習」を下記の日程で行いました。

各実習は、福祉従事者として必要な専門知識及び援助技術、関連知識への理解、必要な資質と能力の向上、専門従事者としての倫理観、人格の形成などを目的とし、夏期休み集中型および7月～12月にかけての分散型で行なわれました。

実習生は基本的に1名につき1～2ヶ所で合計180時間以上の実習を行います。実習の前後に実習担当教員を中心としたきめ細かい指導を行い、実習中も大学での学内指導や実習担当教員が施設へ巡回し実習生へ指導を行っております。

<実習>
 1ヶ所での実習：180時間以上
 2ヶ所での実習：60時間以上+120時間以上
 または 90時間以上+90時間以上

<実習期間>
 前半実習：8月7日（火）～8月24日（金）の期間で60時間以上
 または120時間以上または90時間以上
 後半実習：8月27日（月）～9月14日（金）の期間で60時間以上
 または120時間以上または90時間以上
 集中型実習：8月7日（火）～9月14日（金）の期間で180時間以上
 通年型実習：7月2日（月）～12月24日（月）の期間で180時間以上

<実習施設数及び所属実習生数>
 相談援助実習（実人数75名・延べ人数80名）
 60時間以上+120時間以上：5名
 集中型180時間以上：52名、通年型180時間以上：18名

機関数：17ヶ所（病院含む）、施設数：25ヶ所 合計：42ヶ所
 精神保健福祉援助実習（実人数16名・延べ人数32名）
 90時間以上+90時間以上：16名
 精神科病院：10ヶ所 施設：9ヶ所（診療所含む） 合計：19ヶ所

<実習指導>
事前指導
 オリエンテーションⅠ：平成23年11月8日（火）
 オリエンテーションⅡ：平成24年5月15日（火）
 オリエンテーションⅢ：ゼミ単位で日時を設定し実習担当教員が指導にあたる
実習中指導
 学内指導日：ゼミ単位で日時を設定し実習担当教員が指導にあたる
 巡回指導：実習担当教員が全ての実習施設を巡回し指導にあたる
事後指導
 実習生はそれぞれの実習担当教員から事後指導を受ける

平成24年度 後援会支部総会の開催

平成24年度の沖縄国際大学後援会支部総会を開催しました。支部総会に先立ち教職員との学生生活、学業及び就職相談が行われ、保護者の皆さんが熱心に相談しておられました。

池田光男会長から、支部総会の全ての議案が承認され、新旧役員の方々のご苦労に対し感謝し、「後援会が8月に創立40周年を迎え、セミナーハウスにおいて4支部の役員・会員の皆様との交流会で盛大にお祝いをしました。これも偏に会員の皆様方の積極的なご協力のもと、今後も皆様方が沖縄国際大学の発展のために、広く友人や親戚の方々へ、沖縄国際大学の素晴らしさを大いに宣伝して下さい」と挨拶された。

大城保学長は、「沖縄国際大学は、地域に根ざし世界に開かれた大学として大学づくりに一生懸命取り組んでまいりました。そして多くの人材が育ってまいりましたが、これからも、地域に根ざし世界に開かれた大学をつくと同時に地域を動かし、地域を活性化し、そして世界につながる人材をしっかりと育てることが大きな役割ではないかと思えます」とそれぞれ地域の学生のますますの活躍と保護者の皆様への協力支援についてお話された。

今年度も昨年度に引き続き就職講演を行いました。八重山・宮古では喜久村進キャリア・アドバイザーによる「新卒就職を目指して大学生を持つ親が、今知っておくべきこと」と題して「子供の就職活動に親としてどう関わるか」1年生から就活にどのように取り組むべきか、親としてどのように支援すべきか、親の協力なしでは就活を続けていくことは困難であると講演された。また、久米島・北部では松堂美和子キャリア・アドバイザーが「沖縄県における学生の就職活動の現状と課題」について、県内人気企業の厳しい採用状況において中小企業に目を向け、中小企業の魅力を知るための意識を持ち「会社の規模を問わず社会人との接触を通じて自分の可能性を広げる方法を見つけてほしい」と講演された。

全日程の終了後、高校長・校友会支部役員もご出席のもと、保護者の皆さんとの有意義な懇親会が行われた。

- ① 八重山支部総会 [10月6日（土）出席者28名（会員数76名）於：南の美ら花ホテルミヤヒラ]
- ② 宮古支部総会 [10月7日（日）出席者30名（会員数129名）於：ホテル共和]
- ③ 久米島支部総会 [10月20日（土）出席者22名（会員数33名）於：リゾートホテル久米アイランド]
- ④ 北部支部総会 [10月27日（土）出席者31名（会員数316名）於：ホテルゆがふいんおきなわ]



八重山支部総会

宮古支部総会



久米島支部総会

北部支部総会

平成24年度 うまんちゅ定例講座実施報告

毎年、公開講座委員会主催で行っている「うまんちゅ定例講座」。

今年度は「世代わりの後で復帰40年を考える」と題し、6月から11月まで全10回の講座を総合文化学部社会文化学科の教員が中心となり開催しました。

「復帰40周年を検証する」をテーマに、その前提として沖縄の歴史上の「世変わり」のその後に着目しました。「島津侵入」という未曾有の国難を経て、琉球は如何なる国家へと変貌したのか、為政者や人々は如何なる国家を築こうとしたのか、築いたのか等々の検証、琉球王国を滅亡させた「琉球処分」の後、その事実をどう受けとめ、その事態に如何に対応せんとしたのか等々の検証をしました。また、その後の「世変わり」として「沖縄戦」と、それに続く「米軍政」について、そして「日本復帰」という「世変わり」から40年、沖縄は如何なる変化を遂げたのか、あるいは変わらずに、今どのように評価、表現される時代にあるのか、「世変わり」もさることながら、「その後」の今について考察しました。

今年度は、延べ約540名の受講生の方にご参加いただきました。
 今回の講座内容は、書籍化され2013年3月に全国の書店で販売予定です。



平成24年度 事務職員夏期総合研修開催

大学職員としての見識を高め、職員間の交流を通して職務遂行能力の向上を図ることを目的として、読谷村・むら咲むらにおいて「平成24年度事務職員夏期総合研修会」を開催しました。

9月12日から13日の2日間にわたって、講義形式による研修（学長講話・私学事業団私学研修生による研修状況報告・メンタルヘルス講習会・事務局長講話）ならびに、ワークショップ（コーチング研修）を行いました。本学を取り巻く様々な現状や、今後の大学運営において必要な見識・見解を理解する機会となりました。



学長講話



コーチング研修

キャリア支援課からの情報

2014(平成26)年の就職に向けて、3年次の就職活動が12月からスタートします。それに先駆けてキャリア支援課による「就職ガイダンス」も10月5日から始まっています。就職先を決めることは、卒業後の人生を左右する大切な選択です。早めに取り組むことが、希望の進路に就く近道となります。

3年次の皆さんが長く厳しい就職活動を乗り切り、希望する企業の内定を手にするために、キャリア支援課では様々な形で就職活動をサポートします。上手に活用して就職活動を有利に進めてください。

■ 就職ガイダンスはじまる

3年次を対象とした就職ガイダンスが始まりました。ガイダンスでは、キャリアアドバイザーの松堂美和子氏(キャリアデザイン研究所)を講師に招き、就職活動のノウハウを学ぶための連続講座(全6回)として右記のテーマに沿って開講しました。就活を成功させ、希望の仕事に就くために、ガイダンスで学んだことを活かして下さい。

<就職ガイダンステーマ>

- 第1回 「オリエンテーション マイナビ、リクナビの活用方法」
- 第2回 「就職活動に向けて ～心構えとスケジュール～」
- 第3回 「キャリアアドバイザーから見た就活生の就活の現状と課題 ～仕事理解と自己分析編～」
- 第4回 「書く技術を高める！ 沖国生の自己PRの傾向と対策」
- 第5回 「話して伝える自己表現とは！ ～面接試験の種類とポイント～」
- 第6回 「内定者(卒業生)による【就職活動体験発表会およびQ&A】」

■ 就職相談

就職活動を進めるにあたり、悩んだり戸惑ったりすることが多々あります。そんな時、一人で悩まずキャリア支援課の窓口にご相談にきてください。キャリア支援課を大いに活用して就職活動を乗り切りましょう。

- キャリアカウンセラーによる就職相談
キャリアカウンセラーによる「就職なんでも相談」を行っています。ここでは、就職に対する意識と行動力を身につけることを主な目的としています。就職や進路に関することなら、学年を問わずどなたでも利用できます。
将来の進路のことや具体的な就職活動の進め方、自己分析の仕方、履歴書やエントリーシートの書き方についての指導、模擬面接など、どんなことでも気軽にご相談下さい。
また、ワークショップ等も開催していますので奮ってご参加下さい。
なお、キャリアカウンセラーによる相談は予約制となっておりますので、以下のとおりお申し込み下さい。
●相談日:毎週火曜日 14:00～18:00
毎週水曜日 14:00～18:00
●場 所:本館3階会議室
●予約窓口:キャリア支援課にて随時受け付けています。

- ハローワーク沖縄による就職相談
ハローワーク沖縄のジョブサポーターによる大学巡回相談を行っています。学年を問わず就職に関する相談を受けていますので、希望される方は以下のとおりご利用下さい。
●相談日:第2・4月曜日、毎週木曜日 13:30～16:00
●場 所:本館3階会議室
●予約窓口:キャリア支援課にて相談日の前週末日まで受け付けています。

- キャリア支援課スタッフによる就職相談
キャリア支援課スタッフによる履歴書添削、模擬面接を行っています。どちらも予約が必要ですので、希望される方は以下のとおりご利用下さい。(模擬面接および履歴書添削)
●相談日:月曜日～金曜日の随時
●場 所:キャリア支援課個別面談室
●予約窓口:キャリア支援課にて随時受け付けています。
●予約時に必要なもの:「履歴書添削」「模擬面接」を予約する場合は、受験する企業に提出する履歴書またはエントリーシートのコピー
※その他、就職に関する相談を学年を問わず随時受け付けています。

■ 就職関係行事

以下の日程で就職ガイダンスや就職行事を開催しました。学内会社説明会等も行われる予定ですので、詳細及び申込み手続きを掲示板等で確認し、キャリア支援課窓口で申し込んでください。
●SPI対策講座 10月22日～11月16日(全15回)
●SPI模擬試験 11月19日
●一般教養模擬試験 11月20日
●就職内定者報告会 11月30日
●学内合同企業セミナー 11月7日、12月14日～16日
※上記以降も多数開催予定

<その他の就職試験対策講座>
就職試験対策講座については、例年以下の内容で予定しています。詳細が決まり次第掲示板等でお知らせいたします。
●教員採用試験対策講座
●論文試験対策講座
●面接試験対策
●就職マナー講座

■ 県外就職サポート

本学では、県外就職活動時の旅費の一部を補助する「県外就職活動補助金制度」などにより、県外就職を希望する学生を支援してまいりました。
さらに、県外で就職活動を行う際の拠点として活用できる「沖縄国際大学就職活動サポートセンター」を東京に設置しております。県外でも就職相談、履歴書添削、模擬面接など、キャリア支援課と同様のサポートを受けることが可能になりましたので、キャリア支援課の東京出張所として、お気軽にご利用ください。
県外就職を希望する皆さんは、サポート制度・施設を是非ご利用ください。

■ 企業インターンシップを実施

本学では、毎年夏期休業中(8～9月)の2～3週間の日程でインターンシップを実施しています。今年も県内の企業や公的機関、県庁及び各市町村役場など78企業(機関)で225名の学生が実習を行いました。
また、国際感覚の涵養と国際的な場で活躍できる人材の育成を目的に、成長著しい中国四川省成都での海外インターンシップを実施いたしました。今年度は、8日間の実習に5名の学生が参加し、海外のビジネスシーンや生活文化を視察、体験しました。
インターンシップでは、実際に企業で就業体験を行うことにより、職業意識を向上させる機会に繋がります。具体的業務を体験する中で、自分自身を見つめ直し、これからの社会生活でプラスになることを多く学ぶことができます。ぜひインターンシップ制度を利用して自分の職業適性や可能性を見つけ、職業活動の参考として下さい。

採用試験合格者コメント

総合文化学部 英米言語文化学科 4年次 平良 美奈(首里高校出身)



私は、県内地方銀行である株式会社琉球銀行から内定を頂きました。とても嬉しく思うと同時に今は残りの学生生活を充実させるよう日々全力です！
私は、2・3年次の夏休みを利用し航空業界や観光関連の公務員のインターンシップに参加することで、全く異なった業種から私自身将来何がやりたいのかを考える良いきっかけとなりました。「沖縄のために働きたい」ということを軸に、3年次の12月から本格的に就職活動を始めました。
就職活動は、友達との面接練習、自己分析、本番の面接、すべてにおいて次に繋がる経験となります。たった10分の面接でも絶対に何か得るものがあり、自信に繋がります。就職活動において、不安で何からやっていいかわからない皆さん、まずは切磋琢磨し合える就活仲間を見つけ、セミナー等に足を運びモチベーションを高く持ち続けて欲しいと思います！最後まで諦めず自分を信じて頑張ってください！！

■ キャリア支援課で資格取得に挑戦！

キャリア支援課では、各種資格取得・検定試験等の受験対策として有料講座を開講しています。今年度は、37件の講座を企画し、10月現在20講座が開講され305名が受講しました。また、各種資格取得・検定試験等に666名が受験し、178名(平成24年10月31日現在合格発表済み分のみ)が難関を突破し合格しております。11月以降の開講予定講座は2月・3月の春休みをメインに開講を予定しています。開講講座と検定試験の案内はキャリア支援課掲示板と学内Web掲示板「ガルーン」で案内していますのでご覧ください。
各講座で学んだことや取得した資格は、社会に出て必要とされるものばかりです。興味を持った講座・検定試験等に挑戦してみませんか。

平成24年度対策講座及び検定試験等実施状況

No.	対策講座名	試験日	講座申込者合計	検定試験等	
				受験者	合格者
1	日商簿記3級対策講座(6月検定向け)	6月10日	22	下表参照	
2	話しことば検定2・3級対策講座(7月検定)	7月15日	6	—	—
3	国内旅行取扱業務取扱管理者講座	9月9日	9	—	—
4	色彩検定2・3級(6月検定向け)対策講座	6月24日	11	17	14
5	医療事務講座(7月検定向け)	7月19日	17	16	14
5-2	医療事務コンピュータ講座(8月検定向け)	8月10日	16	15	15
6	秘書技能検定準1・2級対策講座(6・11月検定向け)	6月17日	8	下表参照	
7	行政書士試験対策講座	11月11日	14	※	※
8	宅地建物取引主任者試験対策講座	10月21日	24	—	2
9	プライダプランナー検定2級対策講座	9月9日	9	9	8
10	日商簿記2級対策講座(11月検定向け)	11月20日	16	下表参照	
11	ITパスポート(10月試験向け)対策講座	10月21日	25	—	2
12	速読講座	—	4	—	—
13	ファイリングデザイナー2・3級対策講座	8月11日	13	20	15
14	3級FP(ファイナンシャルプランナー)技能士受験対策講座	9月9日	33	下表参照	
16	ホームヘルパー2級講座(8月)	8月11日	6	6	6
15	介護事務講座(8月)	9月7日	3	3	3
17	福祉住環境コーディネーター2級対策講座	11月25日	10	※	※
2-1	話しことば検定2・3級対策講座(12月検定)	12月2日	0	—	—
1-1	日商簿記3級対策講座(11月検定向け)	11月18日	6	下表参照	
4-1	色彩検定2級(11月検定向け)対策講座	11月11日	2	※	※
5-1	医療事務講座(12月検定向け)	12月18日	5	※	※
6-1	秘書技能検定準1・2級対策講座(2月検定向け)	2月10日	5	—	—
6-2	秘書技能検定準1級対策講座(2月検定向け)	2月10日	3	※	※
9-1	プライダプランナー検定2級対策講座	1月20日	1	※	※
10-1	日商簿記2級対策講座(H25.2月検定向け)	2月24日	9	—	—
18	ビジネス実務法務検定3級講座	12月9日	0	—	—
19	公務員試験対策講座(H25.6月向け)	—	57	—	—
			合計	334	86 44

平成24年10月31日現在			
検定試験	試験日	受験者	合格者
FP(ファイナンシャル・プランニング技能検定)3級	5月27日	19	10
FP(ファイナンシャル・プランニング技能検定)2級	5月27日	0	0
日商簿記検定 2級6月検定	6月10日	37	11
日商簿記検定 3級6月検定	6月10日	70	18
秘書技能検定準1級	6月17日	3	0
秘書技能検定2級	6月17日	67	19
秘書技能検定3級	6月17日	26	18
ビジネス能力検定 2級(対策講座無)	7月1日	10	4
ビジネス能力検定 3級(対策講座無)	7月1日	12	11
販売士検定 3級(対策講座無)	7月14日	27	21
ファイリングデザイナー検定 2級	8月11日	14	9
ファイリングデザイナー検定 3級	8月11日	6	6
FP(ファイナンシャル・プランニング技能検定)3級	9月9日	89	43
FP(ファイナンシャル・プランニング技能検定)2級	9月9日	3	1
販売士検定 2級(対策講座無)	10月3日	12	7
秘書技能検定準1級	11月12日	7	※
秘書技能検定2級	11月12日	82	※
秘書技能検定3級	11月12日	8	※
日商簿記検定 2級11月検定	11月18日	58	※
日商簿記検定 3級11月検定	11月18日	109	※
法学検定ベーシック・スタンダードセット(対策講座無)	11月18日	4	※
法学検定ベーシック・スタンダードセット(対策講座無)	11月18日	3	※
		合計	666 178

11月以降開講予定講座紹介		ガイダンス	試験日
10-1	日商簿記2級対策講座(H25.2月検定向け)	10月5日	2月24日
20	社会保険労務士試験対策講座	11月2日	来年8月
1-2	日商簿記3級対策講座(H25.2月検定向け)	11月30日	2月24日
12-1	速読講座		—
21	パーソナルカラー	1月18日	—
22	カラーヒーリング講座		—
14-1	3級FP(ファイナンシャルプランナー)技能士受験対策講座		来年5月
15-1	ホームヘルパー2級講座(2月)	1月25日	—
16-1	介護事務講座(2月)		—

保険請求事務技能検定試験・医療事務コンピュータ技能試験を合格して

産業情報学部 産業情報学科 4年次 宮城 由佳(石川高校出身)



大学に入学してから医療分野に興味を持ち始めた私は、医療事務という資格がある事を知りました。医療事務は、カルテからレセプトに表記そして会計までの一連の流れに携わります。普段、病院や薬局で頂く点数が表記された用紙、それは医療事務のお仕事を通して皆さんに手渡されます。会計の流れは勿論、病名、また薬剤の知識も得る事が出来るので医療事務はとても勉強になり楽しくやりがいも感じられます。
私自身、学校で開講された講座を受講し医療事務の資格を取得できた事は、自分自身の成長、そして視野の幅を広げられたことを何より嬉しく思います。視野を広げる事は自分自身の新たな発見にも繋がります。皆さんも学生のうちに興味を持った資格にはどんどん挑戦してほしいです。

「日本語学・文化研修」とは、本学国外協定校からの研修生たちが学内の施設に滞在し、日本語と日本文化を学ぶ約3週間のプログラムです。今年の参加学生は韓南大学(韓国)から9名、東海大学(台湾)から7名、マッコリー大学(オーストラリア)から5名の合計21名でした。プログラムの内容は、平日午前中は日本語学習、午後や週末は学外での文化研修という構成となっています。本学の国際交流ボランティア学生や教職員など、毎年多くの方のサポートを頂きながら進めています。

今年の文化研修では沖縄県立博物館・美術館見学を皮切りに、学内で講師を迎えての沖縄そば打ち体験、本学学生の協力による浴衣の着付け、書道、茶道体験、文化王国玉泉洞での工芸体験、そして首里城見学などを行いました。また、東村立高江小中学校との交流会では、同校生徒のみなさんが準備してくれた様々なレクリエーションや研修生たちが準備してきた自国の遊びに全員で参加し、ことばの壁を越えた交流を実現していました。本学東村セミナーハウスでの一泊研修では、国外協定校からの短期留学生や私費留学生、国際交流ボランティア学生との親睦会も実施しました。伊江島の一般家庭に迎え入れて頂き、沖縄の生活を体験するという「民泊」では、それぞれのホストファミリーの温かいおもてなしに大変感激した様子でした。このような体験・交流を通じて、研修生たちは沖縄への理解を深め、サポートしてくれた本学学生たちとの絆を強めていきました。



今回のプログラムには何回かのフリータイムも含まれていましたが、その間には研修生同士、そして国際交流ボランティア学生と一緒に、国際通りや北谷町美浜のアメリキャンピレッジなどに出かけ、日本語でのショッピングや食事を満喫したようです。

修了式においては、研修生のみなさんが自国のフォークダンスや得意なパフォーマンスを披露し、会場の参加者も巻き込んで大変盛り上がりを見せていました。さらに、上達した日本語で一人ずつスピーチを述べ、指導された先生方や参加者を感じさせていました。

引き続き行われたさよならパーティーでは本学学生たちとの別れを惜しむ姿も見られ、3週間という限られた期間ながら実り多い研修であったことが伺えました。

2012年度主な行事

実施月	行事名
4月	海外語学・文化セミナー(台湾・豪州) 帰国報告会
5月	海外語学・文化セミナー(韓国) 募集説明会 国外協定校短期派遣留学(韓国・台湾) 募集説明会
6月	外国人留学生懇親会 国外協定校短期派遣留学(韓国・台湾) 選考試験
7月	日本語学・文化研修生(韓国・台湾・豪州) 受入
8月	国外協定校短期派遣留学生(仏・澳門) 派遣 海外語学・文化セミナー(韓国) 派遣
9月	国外協定校特別聴講学生(仏・澳門) 受入
10月	海外語学・文化セミナー(韓国) 帰国報告会
11月	沖縄地域留学生交流推進協議会主催留学生懇親会 海外語学・文化セミナー(台湾・豪州) 募集説明会
12月	国外協定校短期派遣留学(仏・澳門) 募集説明会
1月	お花見 国外協定校短期派遣留学(仏・澳門) 選考試験
2月	国外協定校短期派遣留学生(韓国・台湾) 派遣
3月	海外語学・文化セミナー(台湾・豪州) 派遣 国外協定校特別聴講学生(韓国・台湾) 受入

琉球語スピーチコンテスト

2012年2月10日、外国語センターでは「第二回琉球語スピーチコンテスト」を開催しました。

コンテストは、日頃の思いなどを琉球語で語るスピーチ部門、詩や絵本を方言に翻訳して読み聞かせる朗読部門、J-POPの歌詞を琉球語に翻訳して歌い上げる歌唱部門の3つに分かれています。学外の方を審査員に迎え、大賞および部門賞などの各賞を決定しました。審査が難航するほどの力作ぞろい、琉球語の心地良さや奥深さ、面白さを改めて感じることでできた一日になりました。

琉球語はユネスコで「消滅危機言語」にも指定され、次の世代への継承が大きな課題になっています。この琉球語スピーチコンテストの開催が、継承問題への一助となることを願っています。



英語合宿セミナー「100%純生英語」で英語力UP!!

外国語センター主催の「英語合宿セミナー」は、2012年3月17日から20日までの3泊4日、東村のセミナーハウスで行われました。今回で11回目をむかえ、Native Speakerを中心にハードかつ楽しい「100%純生英語」でEnglish Only(英語のみ)の生活を体験しました。

少人数のチームに分かれて、英語のコミュニケーション能力をつけるアクティビティ、課外活動として東村周辺の観光地を訪れての情報収集、英語でのゲームやレクリエーション、満点の星空の下で行われたバーベキューパーティ、そして、最終日には、オール・プレゼンテーションなどさまざまな活動を行いました。それらを通して、参加した学生たちは、英語で伝えようとする意志、感覚そして何よりもアウトプットのスキルアップを培った英語演の4日間を過ごしました。



1. 「米軍ヘリ墜落事件展示～普天間基地から沖縄を考える～」開催

オスプレイ配備計画で基地問題に関心が高まる中、今年も8年前の米軍ヘリ墜落事件を風化させないため図書館2階の米軍ヘリ墜落事件関連資料室において、8月13日(月)に企画展を開催しました。今年も、3月13日に画家の真喜志勉様から寄贈していただいた「黒い壁画」(2004年8月13日のヘリ墜落事件に触発されて制作された絵画)2点を展示して来場者に観ていただきました。

37人の来場者の内、県外からも5人の来場がありました。アンケートでは、「ヘリが墜落した時の様子が生々しく伝わった。」「在日米軍の一大事が、全国的には小さな扱いで温度差を感じた。」「今、オスプレイ配備の問題が取り上げられているけど、また同じような事件があるのではと不安になります。」「写真はPCやiPadで閲覧しやすくなれば良いと思う」「ビデオ編集が中途半端にカットされていて、内容を掴みづらい。」「米国紙の翻訳を展示するのも良い。」など多くの感想、ご意見が寄せられました。なお、「黒い壁画」の作品1点は資料室に常設しております。

2. 高校生によるインターンシップ

7月10日～11日に西原高等学校3年生4名、11月6日～8日に陽明高等学校2年

生4名が図書館でのインターンシップを行いました。職員の指導を受けながら、受入から装備、貸出、返却、配架などの一連の業務を体験しました。みなさんから「利用する立場で見ていた図書館の裏での地道な作業が体験できてよかった」「これからの進路決定に活かしていきたい」などの感想が寄せられました。

3. 「スポーツに関する図書フェア」開催

今回のフェアは、本学開学40周年一環事業の運動場改修工事に伴い、スポーツに関する知識の向上、運動施設活用を目的で増加したスポーツ関連図書に、より多くの学生が関心を持ってもらえるよう2012年10月22日(月)から11月7日(水)「スポーツに関する図書フェア」と題して開催しました。

約500冊のスポーツ関連図書を揃え、またフェア開催日が、残暑も落ち着いたのぎやすい季節(読書・スポーツの秋)と重なったため、開催コーナーへ立ち寄る学生が数多くみられました。



南島文化研究所

第34回南島文化地域学習

7月8日(日)に第34回南島文化地域学習を開催いたしました。今年は本学創立40周年を記念して大学所在地の宜野湾市宜野湾及び近隣の佐真下・我如古区の地名や自然、歴史等について学びました。

講師として宜野湾市教育委員会の仲村健氏・金城良三氏をはじめ本研究所所員・特別研究員を招き、それぞれの分野から解説していただきました。

また、第177～179回シマ研究会を下記のとおり開催しました。

- 5月24日：上原富二男氏「地理学からみた沖縄戦の戦場」
- 7月10日：赤嶺ゆかり氏
「脱植民地化の視点とハワイアンルネサンス」
- 7月23日：田場裕規氏
「組踊の身体—身体感覚・身体技法の継承—」



沖縄経済環境研究所

【プロジェクト研究】

- A 労働雇用問題と地域振興
- B 先島諸島における環境と経済に関する総合調査
- C 東アジアの経済発展
- D 沖縄返還交渉時の沖縄経済・復興・復帰後計画後の検証

【刊行物】

- 叢書『沖縄における若年就業の可能性』
- S B (ソーシャルビジネス) 研究会報告書第3号

【研究会・講座等】

- 平成24年4月9日～平成24年8月6日
・『民学連携講座 琉球泡盛学』講座Ⅰ 毎週月曜日18:30～20:00
平成24年4月21日～平成25年1月21日
・ソーシャルビジネス研究会Ⅰ 産学連携講座 第3土曜日開催

【フォーラム等】

- 平成24年5月12日(土) 13時～18時
民官学連携・国際シンポジウム
「沖縄、グアムの脱軍事基地、脱植民地化をめぐる議論」
平成24年8月4日(土) 13時～17時
沖縄「復帰40周年」記念フォーラム
「沖縄返還交渉の舞台裏—政策担当者の証言—」



沖縄法政研究所

第40回研究会「産業財産権の役割とその活用方法—沖縄県内の事例を中心に—」

沖縄法政研究所では、7月30日(月)に、本研究所特別研究員であり、弁理士の大久保秀人氏を報告者に迎え、第40回研究会「産業財産権の役割とその活用方法—沖縄県内の事例を中心に—」を開催しました。

はじめに産業財産権の概要と役割、活用方法等の概観を説明され、その後、沖縄県内の出願状況、活用事例について報告が行われました。また中国の現状についても、図表を用い、分かりやすく紹介していただきました。

参加者からは「産業財産権について非常に勉強になった。」「世界の動向から県内事例まで網羅して全体像がよくつかめた。」「産業財産権が権利保護・行使だけでなく、権利侵害を防ぐ役割があることが理解できた。国際市場に進出していく上でも重要な役割を持っていることがわかった。」等の感想が寄せられました。



産業総合研究所

前期は2回の研究会を開催しました。



■第1回8月11日(土)
テーマ：『これからの地方私立大学の在り方—教育・運営・改革—』
講師：鈴木典比古氏(公)大学基準協会・専務理事)

国公私立大学は財政難、定員未充足などに直面しており、学生募集停止、大学間統廃合などが現実化し、これらの問題は地方の私立大学でこそ深刻になりつつあります。今回の講演では現在行われている中央教育審議会・大学教育部会での議論を中心に大学の教育・運営・改革についてお話しいただき、その対応策についても解説していただきました。



■第2回8月17日(金)
テーマ：『中国経済の高度成長は続くか』
講師：陳子雷(上海対外貿易学院大学日本経済研究センター主任・国際経済貿易学院教授)

輸出主導型の経済成長は転換期を迎え、新たな成長モデルが求められています。そのキーワードとして「製造業の生産方式を伝統的方式から現代的方式へ」「生産拠点を沿岸部から内陸部へ」「国民の生活様式を農村型から都市型へ」といった転換(変革)の必要性を論じられ、その内容について分かりやすく解説していただきました。

*** 平成24年度 特待奨学生証書交付 ***

10月5日、各学部教授会において、平成24年度の特待奨学生証書交付式が行われました。本学特待奨学生は「学業・人物ともに優秀で、他の模範となる学生」という基準で選考され、今回、交付対象となった30名(法学部6名、経済学部6名、産業情報学部6名、総合文化学部12名)には、授業料・施設設備資金に相当する額の奨学金810,000円が給付されます。

今回の対象者の中には2年連続や3年連続で選出された学生もあり、交付式では各学部長からその優秀な成績と真面目な勤労ぶりに対する賛辞が述べられました。

法律学科4年次の新垣彩夏さん(嘉手納高校出身)は、「3年次、4年次と特待奨学生に選んで頂きとても嬉しく、そして光栄に思います。残り少ない大学生活ではありますが、今後も挑戦し続け、社会人として成長していきたいと思います」、社会文化学科4年次の小嶺麗さん(読谷高校出身)は、「特待奨学生に採用していただき、とても嬉しく思います。残りの学生生活も気を引き締めて様々なことにチャレンジし、充実した日々を送りたいと思います」と感謝の言葉を述べました。

3年連続で選ばれた産業情報学科4年次の平良美紀さん(首里高校出身)は、「3年連続で特待奨学生に採用していただき、ありがとうございます。採用されたことで自信にもつながり、また光栄に思います。残りの学生生活も、特待奨学生としての自覚を持ち、充実した日々を送りたいです」と感謝の言葉を述べました。



法学部



産業情報学部



経済学部



総合文化学部

*** 世界空手道連盟2012プレミアリーグトルコイスタンブール大会優勝 ***

世界空手道連盟(WKF)2012プレミアリーグのトルコ・イスタンブール大会で、英米言語文化学科4年次の喜友名諒君(興南高校出身)が男子個人形で優勝。また、喜友名君は、地域行政学科3年次の金城新君(美来工科高校出身)、社会文化学科2年次の上村拓也君(興南高校出身)と共に挑んだ男子団体形も優勝し、2冠を達成しました。

10月17日、狩俣恵一副学長、山入端津由学生部長らと共に、沖縄県文化観光スポーツ部を訪問し、優勝報告を行いました。平田大-沖縄県文化観光スポーツ部長は、「日頃から沖縄の空手を世界につなげる大きな役割を果たしていると思う。若い皆さんが空手を通してウチナンチュスピリッツを体現してくれた。根っこが沖縄だからこそ、世界とつながることができる。視点は郷土、視野は世界という目線をもった空手家になってほしい」と激励しました。

喜友名君は「沖縄にしかない劉衛流で世界一になったことを嬉しく思っている」、金城君は「佐久本先生や先輩方と365日練習したおかげで、自信をもって演武することができた」、上村君は「これにおごらず、周りの人たちに感謝しながら精進していきたい」と感想を話しました。




*** BATIC(国際会計検定)に6名全員合格 ***

7月22日に行われた第23回BATIC(国際会計検定)に、6名が合格しました。BATICとは、国際コミュニケーションのための英文会計テストのことで、英文簿記と国際会計理論の理解度を問う2科目で構成されており、英語力と国際会計スキルを同時に測る検定試験です。本学では就職試験対策講座の一環として「BATIC直前対策講座」(担当:企業システム学科教授・清村英之)を行っており、今回、Subject1(英文簿記)に受講生全員が合格しました。

合格したのは、企業システム学科3年次の新垣名津美さん(開邦高校出身)、浦崎あずささん(普天間高校出身)、黒木伽鈴さん(那覇商業高校出身)、仲本ソフィア結美さん(北中城高校出身)、西平祐美子さん(首里高校出身)、宮良千奈美さん(那覇商業高校出身)の6名です。

浦崎さんは「先生が丁寧に指導して下さったので、一人では理解できない問題でも講座の中でほとんど理解することができた」、新垣さんは「目標の8割には届かなくて悔しかったが、苦手な英語に挑戦したという証になった。これから何事にも挑戦していきたい」と感想を述べました。







★学P沖縄リーグ2012に参加

～「パッションの想い～for you～」を販売～

学P沖縄リーグ2012に、本学企業システム学科3年次の宮森ゼミの学生8名が参加しました。学Pは、株式会社沖縄ファミリーマートが、県内に在籍する大学生を対象にした実践型インターンシップで、商品開発から販売まで行う体験型のプログラムです。

参加したメンバーは、企業システム学科3年次・大城瑞希さん(那覇商業高校出身)、宮平貴広君(浦添工業高校出身)、久貝恵太君(北中城高校出身)、山内太一郎君(前原高校出身)、小谷海人君(浦添商業高校出身)、眞鶴みわさん(与勝高校出身)、安里菜さん(普天間高校出身)、新里美織さん(知念高校出身)の8名です。

今回、沖縄国際大学は初のデザート部門での参加で、「パッションの想い～for you～」(価格280円)を販売し、味と美しいフォルムが評価されベストクオリティ賞を受賞しました。

*** 第9回「おきなわの観光」意見発表コンクールで優秀賞、優良賞を受賞 ***

7月16日、沖縄かりゆしアーバンリゾートで行われた第9回「おきなわの観光」意見発表コンクールにて、本学学生2名が本選に出場しました。このコンクールは、沖縄県内在住の児童・生徒・学生を対象に観光文化事業の一環として文化振興、観光の発展に寄与する事を目的に、かりゆしグループの主催で開催されています。

専門学校及び大学の部で、企業システム学科3年次の辛培芳(コバイホウ)さんが「中国のサラリーマンを沖縄に呼び込もう」で優秀賞、法律学科1年次の真喜志彩乃さん(浦添高校出身)が「イチャリバ観光」で優良賞を受賞しました。



真喜志彩乃さん



辛培芳(コバイホウ)さん

沖縄国際大学 英文学科(現・英米言語文化学科)卒業生

宮平貴子 Produce 映画作品「カラカラ」

モンリオール 世界映画祭にて W受賞!!

「カラカラ」
公開日時

2013年1月12日
沖縄シネマQ 先行公開

2013年1月19日
新宿ピカデリーほか 全国順次ロードショー

Profile
宮平 貴子
Takako Miyahira
那覇市出身。英文学科(現・英米言語文化学科)卒業。学生時代から映画製作を行い、2009年「アンを探して」で初監督。現在、株式会社クルビビジョン社長。

本学卒業生の宮平貴子さんが、世界映画祭コンペティション部門において「世界に開かれた視点賞」、「観客賞」をW受賞しました。この作品は、宮平さんの師であるガニオン監督が全編沖縄オールロケを行い、ホームグラウンドであるカナダケベック州の映画館5館でもソールドアウトも出たほどの人気です。また、今年の9月に行われた琉球新報創刊120年記念「ボンジュール☆ケベック!シネマ in 沖縄」では、完成イベントが行われました。宮平さんは、「年を重ねることや死に対する恐怖をどう考えていくのか」、この作品が持つ普遍性のあるテーマが多くの観客に受け入れられているのではないかと語ります。ガニオン監督の「観る人にもっと世界に目を向けてもらいたい、沖縄を知ってもらいたい」という思いで生み出され、この映画が描く「心の交流」を是非皆さんの目で確かめてください!

宮平貴子初監督作品「アンを探して」も発売中! 詳しくはホームページをご覧ください <http://www.kukuruvision.net>





Surprise Event



第41回

OHANA

2012 Mrs. Miss Contest

Miss. OKIU
産業情報学部
企業システム学科
西平 佳純
2012.10.20

Mr. OKIU
総合文化学部
社会文化学科
内原 秀也
2012.10.20

あかはな
逢架花
ソーラン節

アットホームな

今回の大学祭では、学生だけではなく、地域の方々や協力して下さった企業の皆さんがアットホームな雰囲気の中で大学祭を楽しんでもらえるようにと「OHANA」をメインテーマにしました。昨年引き続き、沖国大祭実行委員会が

沖縄国際大学

ステージ班、イベント班、屋外班、屋内班、総務班、広報班に分かれて、各ゼミ、各サークルと協力しながら、出店・展示、イベントの企画・運営を行いました。多くの皆さまにご来場頂戴することが出来ましたこと心より御礼申し上げます。

エイサー



ベリーダンス



模擬店



D-Nuts ダンス



Shiny ダンス



ヤシガニース ダンス



Who's Next フリースタイル



出店



大学祭 実行委員



片付けの様子



沖国大祭 実行委員長挨拶

総合文化学部
英米言語文化学科4年次
喜久山 直樹 キヤマ ナオキ

沖国大祭に関わってくださる皆さまと、お互いに愛を分かち合い、家族のようなコミュニティを築くことが出来ればという思いを込めた「OHANA」(ハワイ語で家族)。本学創立40周年を迎えた今年、多くの方の協力を得て、学生一同、例年以上に沖国大祭を盛り上げることが出来ました。



沖国大祭 STAFF

2013(平成25)年度 入学試験日程

	一般入学試験		センター入学試験		特別・編入
	前期日程	後期日程	前期日程	後期日程	後期日程
出願期間	2013年1月4日(金) ～1月11日(金)	2013年2月15日(金) ～2月20日(水)	2013年1月15日(火) ～1月24日(木)	2013年2月15日(金) ～2月20日(水)	2012年12月25日(火) ～2013年1月7日(月)
入学試験日	2013年2月5日(火)	2013年 3月3日(日) 全学部・全学科 小論文・面接	大学入試センター試験実施日 2013年 1月19日(土)・20(日)		2013年 2月6日(水) 全学部・全学科
	★法律学科 ★経済学科 ★企業システム学科 ★英米言語文化学科 ★社会文化学科 ★人間福祉学科 (心理カウンセリング専攻) ★専門・総合選抜試験 (経済学部/産業情報学部)		※個別試験は課さない		
	2013年2月6日(水)				
	★地域行政学科 ★地域環境政策学科 ★産業情報学科 ★日本文化学科 ★人間福祉学科 (社会福祉専攻)				
合格発表	2013年2月15日(金)	2013年3月11日(月)	2013年2月15日(金)	2013年3月11日(月)	2013年2月15日(金)

2013年度AO入学試験実施

2013年度AO入試の出願期間は8月1日(水)～8日(水)で、志願者は940名でした。第2次審査(面談審査)は、第1次審査(書類審査)の合格者778名を対象に9月7日(金)～10日(月)に実施し、10月3日(水)に最終合格者422名を発表しました。

最も倍率の高かったのは、人間福祉学科心理カウンセリング専攻の3.52倍、次いで英米言語文化学科の3.13倍、地域行政学科の2.88倍の順となりました。全体の倍率は2.23倍でした。

学 科	募集人数	志願者数	第1次審査 合格者数	最終審査 合格者数	倍 率	前年度 倍 率
法 律	33	58	58	40	1.45	1.90
地 域 行 政	33	118	77	41	2.88	2.68
経 済	34	78	59	43	1.81	1.26
地域環境政策	34	60	50	38	1.58	2.50
企業システム	34	100	100	43	2.33	2.88
産 業 情 報	34	68	68	42	1.62	2.35
日 本 文 化	33	98	98	45	2.18	1.76
英米言語文化	36	122	81	39	3.13	2.80
社 会 文 化	24	66	43	30	2.20	2.07
人 間 福 祉 (社会福祉)	24	77	65	34	2.26	1.63
人 間 福 祉 (心理カウンセリング)	22	95	79	27	3.52	3.81
合 計	341	940	778	422	2.23	2.30

オープンキャンパス実施

2012年度のオープンキャンパス(7月1・22日、10月21日)は今年も盛況のうちに終了しました。

オープンキャンパス参加者数は3日間で延べ総来場者数2118名の方々に参加頂きました。

アンケートでも好評だった在学生ガイドによるキャンパスツアーを始め、北部・南部地区学生を対象にしたシャトルバスの運行、来場者には沖国大トートバッグやスコーンセット等の配布、学食や学内カフェの出店等、昨年にも増して参加者に満足してもらえる内容を目指しました。

各学科の学科紹介や体験講座では、午前午後1コマずつ設定していますので、興味のある学科に複数回参加出来ました。また、経済・地域環境政策学科合同、企業システム、産業情報、日本文化、英米言語文化、人間福祉学科の学科長や在学生の協力による学科紹介ブースも設置し、より深く学科のことを身近に学べる取り組みもありました。

その他にも、各サークルによる企画展示や実際の部活動を見学してもらうことで、学生生活の一端を見てもらうことが出来ました。

お昼のアトラクションでは、「琉球風車」や「鼓舞楽団浦風」のエイサー演舞、「バルーンアートクラブ」によるバルーンアート実演、「OSSF」のストリートダンス等、各サークルが趣向を凝らしたパフォーマンスを披露し、多くの見学者を楽しませてくれました。

本学学生と教職員が一丸となって取り組む姿勢を見てもらうことで、より本学進学を希望してもらえるようなオープンキャンパスを目指し、これからもアンケート等で寄せられた多くの声に添えていきたいと思っております。

大学院9月入学試験実施

9月23日(日)、大学院の9月入学試験が実施されました。選考の結果、地域文化研究科5名、地域産業研究科2名、法学研究科3名の計10名が合格となりました。

2013年2月10日(日)には、2月入学試験が実施されます。現在、入試要項及び大学院案内を入試センターにて配布しています。詳細については、入試センター(TEL:098-893-8945 E-mail: entchr@okui.ac.jp)へお問い合わせ下さい。

大学院入学試験日程(2月試験)

出 願 期 間 : 2013年1月15日(火)～1月22日(火)

入 学 試 験 日 : 2013年2月10日(日)

合 格 発 表 日 : 2013年2月20日(水) 午前11時

